

(別紙様式1)

平成28年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 島根県
農業委員会名： 西ノ島町農業委員会

I 農業委員会の状況(平成28年3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	48	農業就業者数	22	認定農業者	9
自給的農家数	22	女性	7	基本構想水準到達者	1
販売農家数	26	40代以下	0	認定新規就農者	1
主業農家数	5	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	1
準主業農家数	7			集落営農経営	0
副業的農家数	14			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	12	26				38
経営耕地面積	18	5				23
遊休農地面積	6.9	3				9.9
農地台帳面積	81	40				121

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 29 年 5 月 31 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	7	7	1	0	0	4	12	12
認定農業者	—	0	0	0	0	1	1	1
女性	—	0	0	0	0	0	0	0
40代以下	—	0	0	0	0	0	0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数					
認定農業者	—				
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—				
40代以下	—				
中立委員	—				

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	486ha	21ha	4%
課 題	・農業従事者の減少、高齢化により遊休農地が増加し、農地の確保、有効利用を図る上で課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 0.5ha (うち新規集積面積 ha)
	目標設定の考え方: 事業を活用した耕作放棄地再生予定面積をもとに設定
活動計画	・事業が円滑に行われているか8月以降の利用状況調査等で確認する。また、次年度以降に向けて利用状況調査等の結果を踏まえて、農地所有者及び担い手の調整を行う。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	25年度新規参入者数	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	25年度新規参入者が取得した農地面積	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題	・農地の権利移動は伴わなかったが、昨年度は畜産業において2名の新規就農者があった。 ・農地の有効利用のため、利用状況調査の結果をもとに、新規参入希望者と農地所有者との調整を図っていくことが必要。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	0.1ha
活動計画	・10月～12月の利用状況調査等において、農地の適正な管理と把握に努め、新規参入希望者へ農地の斡旋を行う。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
		486ha	9.9ha
課 題	・遊休農地割合は低い、農家の高齢化や担い手不足から今後は遊休農地が増加していくことが見込まれるため、利用状況調査及び意向調査の結果をもとに農地の有効利用を進めていくことが必要。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 0.5ha 目標設定の考え方: 事業を活用した耕作放棄地再生予定面積をもとに設定。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		14 人	8月～12月	12月
	調査方法	・航空写真を活用した調査図をもとに、農業委員と事務局職員による現地調査を行い状況把握を図る。		
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	1月～3月	6月～8月		
その他	・地域協議会が実施する耕作放棄地の再生事業を円滑に実施するため、農地所有者と担い手の調整を行う。			

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
		486ha
課 題	・違反転用がないように農地法の周知と発生防止に努める。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の活動計画

活動計画	・利用状況調査等により、違反転用を発見した場合、速やかに是正等の指導を行う。
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入